

新たな「千葉県がん対策推進計画」を策定しました

今、日本人の2人に1人がかかるとされる「がん」。がんは誰もが向き合わなければならない身近な病気です。

県では、平成25年3月に策定した「千葉県がん対策推進計画」に基づき、がん対策を総合的かつ計画的に推進します。

■ がんの現状

がんは本県における死亡原因の第1位を占め、3人に1人はがんで亡くなっています。

がんは高齢になるほどかかりやすくとされ、急速に高齢化が進む本県では、がん患者はさらに増加することが予測されます。

■ 計画の概要

県では、平成20年3月に策定した「千葉県がん対策推進計画」を見直し、平成25年度から平成29年度までの5年間を計画期間とする新たな計画を策定しました。

〔施策体系の特徴〕

- ① 県民主体の**予防・早期発見**
- ② 患者への**良質な医療提供**
- ③ 県民や患者の**支援のための相談・情報提供・患者の生活支援**
- ④ **がん対策全体の向上を支える研究など**

〔重点施策〕

具体的には、次の4つに重点をおいて施策を推進します。①情報提供・相談支援体制の充実②検診受診率の向上に向けた取り組みの強化③がん医療を担う人材育成と緩和ケアの推進④研究の促進

■ 予防と検診は安心の第一歩

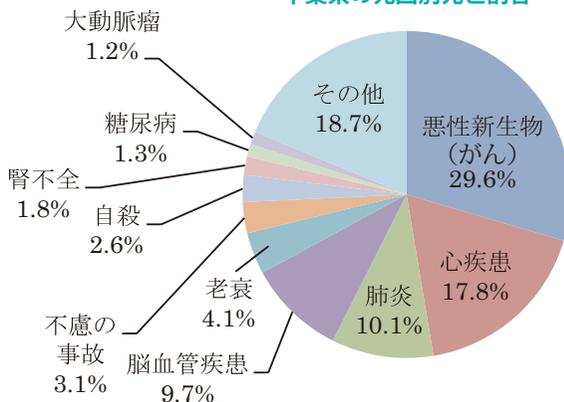
〔生活習慣の改善でがん予防〕

がんの原因の多くは、喫煙（受動喫煙を含む）や過剰飲酒、運動不足、肥満、野菜・果物不足、食塩の取り過ぎなどの日常生活習慣に関わるものであり、これらを改善することで多くのがんが予防できます。

〔積極的にがん検診受診〕

がんの治癒率を高めるためには、一人一人が積極的にがん検診を受けることが大切です。がん検診の詳細については、お住まいの市町村のがん検診担当課にお問い合わせください。

千葉県の死因別死亡割合



千葉県のがんによる死亡者数



日本人のためのがん予防法

喫煙	たばこは吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ避ける。
飲酒	飲むなら、節度のある飲酒をする。
食事	食事は偏らずバランスよくとる。 ・塩蔵食品※、食塩の摂取は最小限にする。 ・野菜や果物不足にならない。 ・飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に過ごす。
体形	成人期での体重を適正な範囲に維持する(太りすぎない、やせすぎない)。
感染	肝炎ウイルス感染の有無を知り、感染している場合はその治療の措置をとる。

国立がん研究センターがん対策情報センター「現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法」より

※ 魚や肉、野菜などに食塩を加えて腐敗を防止、長期間の貯蔵ができるようにした食品

お問い合わせ 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 TEL 043-223-2402 FAX 043-225-0322

風しん患者が急増しています

妊婦と赤ちゃんを風しんから守りましょう

妊婦が妊娠初期から中期に風しんにかかると、流産や死産の原因となるほか、赤ちゃんが、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなどという「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんはワクチンで予防できます

風しんワクチンを接種することで、風しんの感染を予防することが可能です。定期接種以外の年齢の方でも、有料となりますが、医療機関で接種できます。

① 女性は妊娠前に

風しんの予防接種をご確認ください。
 ※接種後2カ月は避妊が必要です。
 ※接種回数は子どもの頃の接種を含めて2回です。

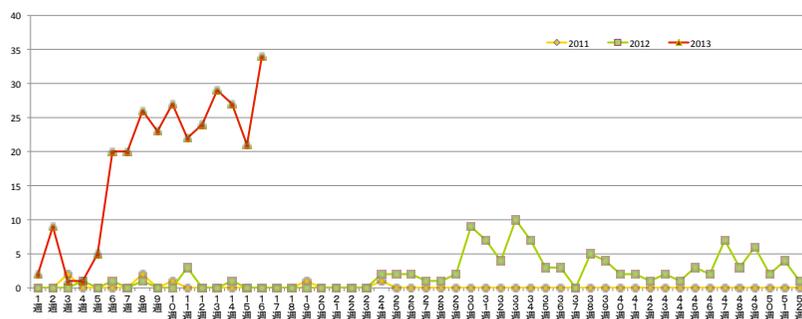
② 成人男性

風しんの予防接種をご確認ください。
 ※2回接種しても問題はありません。
 ・風しんにかかったことがない方
 ・風しんワクチンを受けていない方
 ・どちらも不明の方

③ 妊娠中の女性の家族は

風しんの予防接種をご確認ください。
 ※妊婦は風しんの予防接種を受けられません。
 ※1歳児（第1期）と、小学校入学前1年間（第2期）は麻しん風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう。

週別報告数の推移（過去3年）



お問い合わせ

千葉県健康福祉部疾病対策課

TEL 043-223-2691

※県では、5月1日から市町村に予防接種費用の一部助成を開始しています。実施状況については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

性別年齢別割合（報告総数 342）

